

2023 ミニラグビー レフリングガイドライン (第2版)

(公財) 日本ラグビーフットボール協会
ハイパフォーマンス部門 審判グループ
普及育成委員会 小学生部門



2023 ターゲット

学童期のプレーヤーが

- ・安全に
- ・楽しく
- ・いつまでも

ラグビーができる環境を作る。



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

- 1 「タックルの高さに関する試験的ガイドライン」を導入（9／1より）
- 2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

1 「タックルの高さに関する試験的ガイドライン」を導入（9／1より）

COMMUNITY GAME: LEGAL TACKLE HEIGHT PROPOSAL

THE RISK OF CONCUSSION IS 4.2 TIMES HIGHER WHEN THE TACKLER'S HEAD IS ABOVE THE BALL CARRIER'S STERNUM IN THE TACKLE*

BELOW THE STERNUM

- TACKLE THE BELLY
- BELOW THE BALL
- TARGET THE TORSO

*[SOURCE: DATA FROM 878 HIAS, ONGOING WORLD RUGBY RESEARCH STUDIES, AS IN TUCKER ET AL 2017]

COMMUNITY GAME: LEGAL TACKLE HEIGHT PROPOSAL

THE RISK OF CONCUSSION IS 4.2 TIMES HIGHER WHEN THE TACKLER'S HEAD IS ABOVE THE BALL CARRIER'S STERNUM IN THE TACKLE*

HIGHEST RISK ZONE
HEAD-ON-HEAD AND HEAD-ON-SHOULDER

LOWER RISK ZONE
TACKLER HEAD TO BALL CARRIER TORSO/UPPER BODY

HEAD-TO-HIP AND HEAD-TO-UPPER LEG ARE LOW RISK

MEDIUM RISK ZONE
HEAD-ON-KNEE HIGHER RISK WITH MEDIUM ZONE

*[SOURCE: DATA FROM 878 HIAS, ONGOING WORLD RUGBY RESEARCH STUDIES, AS IN TUCKER ET AL 2017]

胸骨の位置(赤塗り部分)



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

〔全てのカテゴリー〕

防御側が静止した状態でボールキャリアーを受け止めるようなケースは、危険度が無い場合はプレーオンとする。

ミニラグビーでのチェックポイント

- ①タックラー自身が前進していない
- ②ボールキャリアーを**受け止める**（**激しい衝突がない**）
- ③頭部、頸部への接触がない



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

ミニラグビーでのチェックポイント

〔 U10での特例〕

発達段階を考慮して、頭部、頸部への接触がなく、かつレフリーが危険でないと判断した場合は、「ボールキャリアの胸部をつかむ」「タックラーに抱きつく、ぶら下がる」ようなタックルあってもプレーを継続する場合がある。



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更



タックラー、ボールキャリア双方に
声をかけて、未然防止に努めましょう。

・逆ヘッドとなるタックルはいかなる状況でも反則

けがにつながりかねない行為には毅然として対応



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

ボールキャリアーは自他に危険が及ばないように、正しく安全なスキルの習得が求められます。

(例)

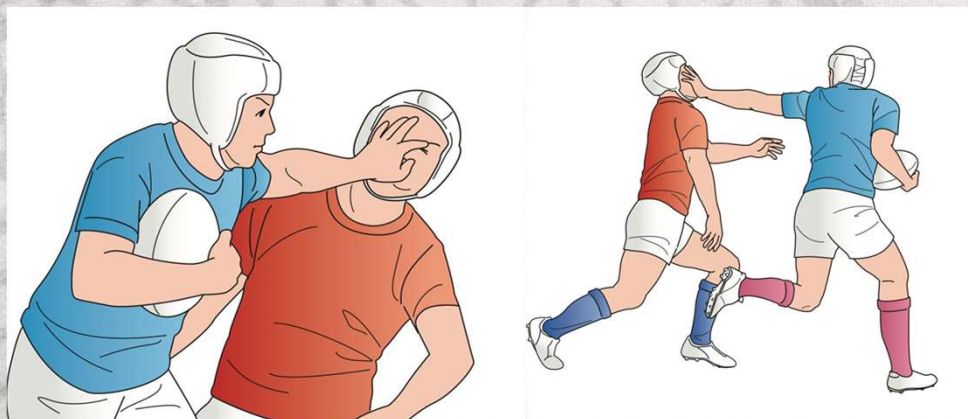
- ・ タックラーがタックル出来ないように頭を下げるような行為←ローヘッド
- ・ 膝や肘を前に出して相手に当たる行為←危険な行為
- ・ あえて相手に当たって逆ヘッドタックルを誘発する行為←危険な行為

相手をけがさせるような行為に対してはレフリングの判断で毅然と対応してください。

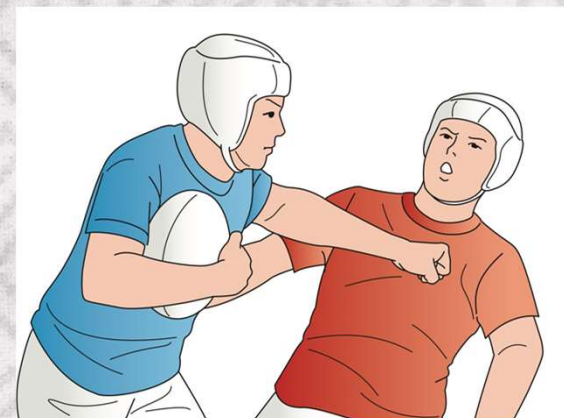


2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更



- ・頸部、顔面、頭部へのハンドオフは反則



- ・げんこつはもちろん、手を開いていても、相手がけがをしそうなほど強く突いたり、受け身がとれないほど強く突き飛ばしたりするのは反則

けがにつながりかねない行為には毅然として対応



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

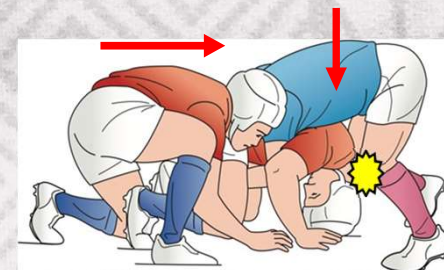
2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更



・スクイズボールは即座にペナルティー

けがにつながりかねない行為には毅然として対応

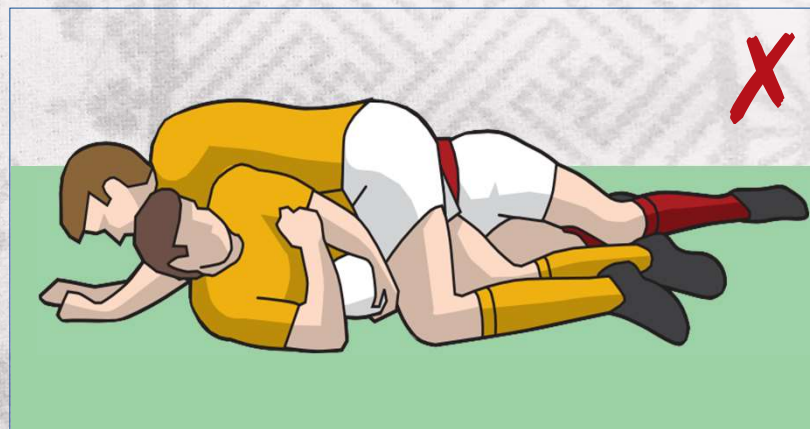
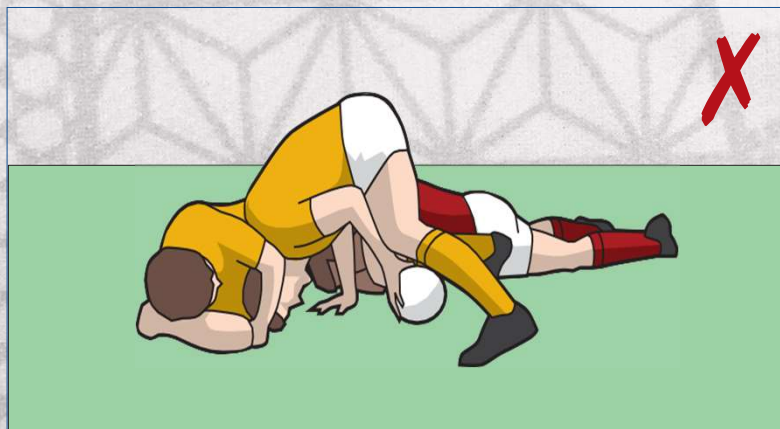
対応の遅れは
大きな事故につながる



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更

全てのプレーや局面において頭を肩や腰より低くプレーをする行為は反則

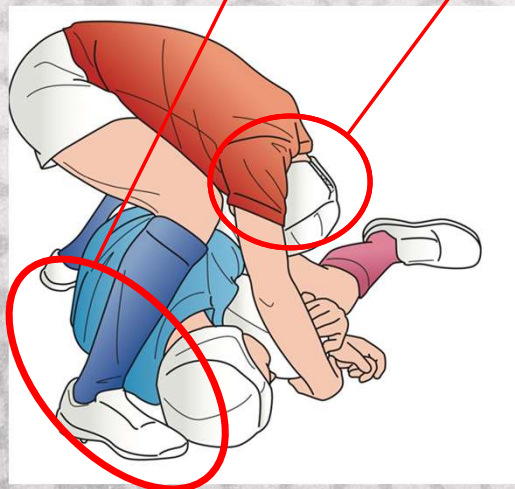


けがにつながりかねない行為には毅然として対応



2023 ミニラグビーレギュレーションの指針 「安全に」

- 2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更
「足をそろえて頭を下げたジャッカル」は禁止。
（下図の姿勢になったらPK）



対応の遅れは
大きな事故につながる



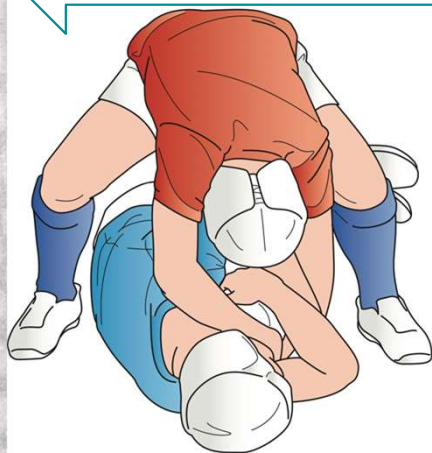
けがにつながりかねない行為には毅然として対応



2023 ミニラグビーレギュレーションの指 針 「安全に」

- 2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更
地面に横たわったプレーヤーをまたいでボールを拾うのはO.K.

ボールキャリアの進行方向



・ただし、ボールが拾えないのに、あるいは拾おうとしないで頭を下げ続けているのは危険な行為としてPK。。

ミニラグビーでのチェックポイント

ボールを拾おうとするプレーヤーが

①しっかりとボールをつかんでいる

+

②ボールを持ち上げる動作を行っている

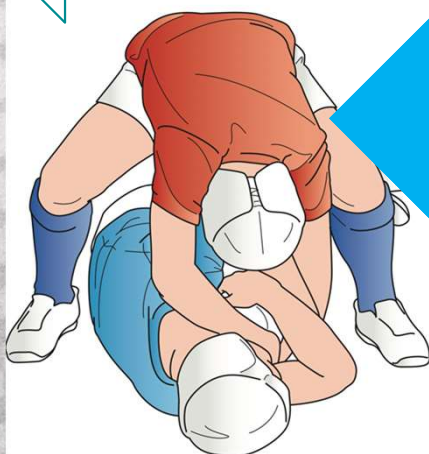
自立できない体勢でのボール争奪を認めない



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

- 2 競技規則第9条の不正なプレー（危険なプレー・不行跡）の記載方法変更
地面に横たわったプレーヤーをまたいでボールを拾うのはO.K.

ボールキャリアの進行方向



ジャッカラーを
スweepする
プレーヤー

ミニラグビーでのチェックポイント

- ①頭が腰より高い姿勢・顔が上がっている
- ②**胴体**にバインドし続ける
- ③最後までレッグドライブ

×相手を突き飛ばす・突き倒す

自立できない体勢でのボール争奪を認めない



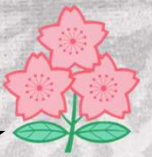
2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

- 1 トライした直後のプレーヤーへのチャージ……厳しく対処
〔手順〕 ①チャージしたプレーヤーを注意
②ハーフウェーライン上のペナルティキックで再開
- 2 安全についての最新の知識の習得と、適切な対処、正しい判断
 - ・ 頭部打撲 × 「こぶができれば安心」
× 「寝せていれば直る」
× 「子供は脳しんとうにならない」

・ 熱中症

☆子供の「大丈夫」を判断、対処の根拠にしない。

☆ゲーム中、プレーヤーに一番近い位置にいるのはレフリーです☆



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「安全に」

以下を必ずご確認ください。

・ 2021年11月 「ミニラグビー／ジュニアラグビーにおける 世界的試験実施ルールの実施及び、危険なプレー撲滅の徹底に向けて」

※添付資料をご確認ください。

・ 2023年5月 「U12 ミニラグビー及び U15ジュニアラグビー競技規則の一部改正について」

※添付資料をご確認ください、

・ 動画「ミニラグビーについて考える」（JAPAN RUGBY TV）



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「楽しく」

楽しいゲームにするためにレフリーが出来ること.....

- ・ プレーヤーに力を出し切らせること
 - ・ ラグビーの持つ魅力を存分に味わわせること
- ← 「ボールの争奪」 「プレーの継続」 を適切に行わせる

(プレーヤーの安全が保証されていることは当然)



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「楽しく」

楽しいゲームにするためにレフリーが出来ること……

☆「ボールの争奪」…適正に行わせる

〔2023の重点〕

- ・スクラム…ボール投入、参加者のバインドを正しく行わせる。
- ・ラック…立ってプレーさせる。
- ・モール…モールが前進していない場合
ボールが出ないと判断
→速やかに笛を吹いて、スクラムを命ずる。
ボールが出そうだったら
→「ユーズイット、ボールを出して」と指示



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「楽しく」

楽しいゲームにするためにレフリーが出来ること……

☆「プレーの継続」…プレーが長く続くようにする

〔2023の重点〕

- ・攻撃側のスペース確保

…「声をかける」「アイコンタクト」などで
防御側のオフサイドを予防する。

- ・アドバンテージの工夫

…プレーの継続に影響しない反則のアドバンテージは早めに解消



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「楽しく」

楽しいゲームにするためにレフリーが出来ること……

☆ペナルティキック、フリーキックからの再開
タップキックを正確に行わせる

→「ボールを踏む」「足でボールに触れる」等々はタップキックとは認められません。競技規則を確認して厳正に対処してください。

（「子供だから」と妥協しないこと。タップキックは相手のプレッシャーとは関係なく行える行為です。）



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「いつまでも」

「ラグビーの世界にとどまり続ける子供を育てる」
「新たに『ラグビーをやりたい』という子供を増やす」ために
レフリーにできること

〔2023の重点〕

- ・ ほめる、認める
- ・ 安心できる環境を保障する



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「いつまでも」

☆ほめる、認める

表情と声、笛でプレーヤーとコミュニケーションを取る

- ・トライ→大きく、長い笛＋「トライ」のコールと笑顔で
- ・いいプレーが続いていれば「いいよ」「続けて」
- ・惜しいプレーがあったら→「惜しい」「残念、ノックオン」など



2023 ミニラグビーレフリングの指針 「いつまでも」

☆（プレーヤーが）安心できる環境を保障する

- ・ 判定に対する異議
- ・ 相手の反則のアピール
- ・ 相手への礼を失した言動
- ・ 相手の人格・人権を侵害する言動

←厳しく対処。プレーヤーだけでなく、周囲の大人も対象。「自分のチームだから」「子供たちは慣れている」等は認めない。

試合の主催者は上記の行為が起きた場合はレフリーの判断を尊重して適切に対処するように努めてください。

〈参照〉

日本ラグビーフットボール協会 [「インティグリティ追究／相談窓口」](#)



2023 ミニラグビーレフリングの指針

☆最後に...

「レフリーぶるな、レフリーらしくせよ」

ラグビーの未来のために

- ・ トレーニング、節制
 - ・ 競技規則の読み直し
 - ・ ラグビーのゲームをたくさん見る
 - ・ 研修会への参加、他のレフリーとの情報交換
 - ・ ゲーム当日のスタイル
- 等々

